

SONY

ワイヤレスノイズキャンセリング
ステレオヘッドセット

使用上のご注意／主な仕様

Made for
iPhone | iPod

N Bluetooth DIGITAL NC

WF-1000X

©2017 Sony Corporation
Printed in Malaysia
4-724-043-02(1)



* 4 7 2 4 0 4 3 0 2 * (1)

お買い上げいただき、ありがとうございます。


警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この使用上のご注意／主な仕様には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**使用上のご注意／主な仕様および取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。


マニュアルについて

取扱説明書には以下の3種類があります。


取扱説明書(別紙)

 接続方法や基本的な使いかたを説明しています。

使用上のご注意／主な仕様(本書)

 使用上のご注意や主な仕様を記載しています。

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

 本機の使いかたを詳しくお知らせになりたい場合は、ヘルプガイドをご覧ください。また、困ったときの対処方法もわかりやすく記載しています。
パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

ヘルプガイド URL:

<http://rd1.sony.net/help/mdr/wf1000x/ja/>

ヘルプガイド二次元コード：



警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- 電源を切る
- ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



危険 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

付属以外のマイクロUSBケーブルを使わない

充電するときは、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない

分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 自動車やバイク、自転車などの運転中に、本機および携帯電話は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- 運転中に携帯電話の画面を注視しないでください。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。また、本機は周囲の音を低減するノイズキャンセリング機能がありますので、警告音なども聞こえにくくなります。踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

内部に水や異物を入れない

本機は防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の家財に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。本機につないでいるBLUETOOTH機器によっては、通話時にハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。

通電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

かゆみなど違和感があったら使わない

本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない

変形や故障の原因となることがあります。

イヤークーピースはしっかり取り付ける

イヤークーピースはがずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。イヤークーピースはしっかり取り付けてください。

本機を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告 充電式電池について

- 付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄しない、火災や破裂の原因となることがあります。
- 電池が漏液したり、異臭がする時には直ちに火気より遠ざけてください。

本機を廃棄する



Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。(「ソニーの相談窓口」の連絡先は裏面に記載されています。)

BLUETOOTH®機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH4/XX4

FH4は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約40 m以下です。XX4はその他の変調方式を採用し、与干渉距離は約40 m以下です。

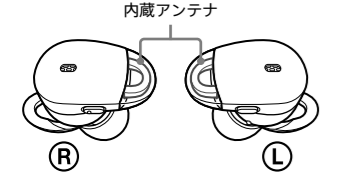
007-AF0089
D170039007

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Apple、Apple logo、iPhone、iPod、iPod touch、macOSおよびMacは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用 に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- Android、Google Play及びGoogle PlayロゴはGoogle LLC.の商標です。
- 「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

使用上のご注意

BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物 (人体、金属、壁など) や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- 本機のアンテナは、下記の図で示した部分に内蔵されています。接続するBLUETOOTH機器と本機のアンテナとの間に障害物が入らないようにすることで、BLUETOOTH通信の感度は向上します。接続する機器のアンテナ部と、本機内蔵アンテナ部分との間に障害物などがある場合、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。



- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- BLUETOOTH通信は以下の状況において、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - 本機とBLUETOOTH機器の間に人体がある場合

- この場合は、本機のアンテナと同じ方向にBLUETOOTH機器を置くことで改善されます。
- 本機とBLUETOOTH機器の間に金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など

- BLUETOOTH機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用する と、電波干渉のためノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
 - 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本機とBLUETOOTH機器をできるだけ近付ける。

- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本機側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご利用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。

- BLUETOOTH通信を行う際はご注意ください。BLUETOOTH通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH接続を保証するものではありません。
 - 接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

音楽再生中に音が途切れやすい場合

- 本機の音質モードを接続優先に変更することにより改善される場合があります。設定方法についてはヘルプガイドをご確認下さい。
- 送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更や、ワイヤレス再生モードをSBC固定に変更することにより改善される場合があります。詳しくは送信機器の取扱説明書をご覧ください。

- スマートフォンで音楽を聞いているときは、不要なアプリをシャットダウンしたり、スマートフォンを再起動すると改善される場合があります。

スマートフォンやパソコンの通話用アプリの使用について

- 本機は通常の電話着信にのみ対応しています、スマートフォンやパソコンの通話用アプリには対応しておりません。

充電について

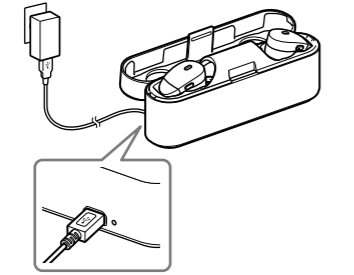
- 本機はUSB充電専用です。本機の充電を行うには、USB端子のあるパソコンまたはUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20（別売））が必要です。
- 充電中は電源が入らず、BLUETOOTH、ノイズキャンセリング機能は使用できなくなります。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 本機を長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、ランプ(赤)がすぐに点灯しない場合があります。ランプ(赤)が点灯するまでしばらくお待ちください。
- 長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

静電気に関するご注意

- 人体に蓄積される静電気により耳にビリビリと痛みを感じることがあります。天然素材の衣服を身に付けることで軽減できます。

本機の動作がおかしいときは

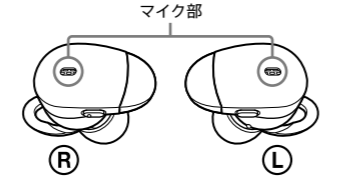
- 本機をリセットしてください。リセットする場合は充電をしてください。充電を開始すると本機は自動的にリセットされます。機器登録情報その他の設定は保持されます。



- リセットをしても症状が改善されないときは、本機を初期化してください。本機を充電ケースから取り出し、L側のボタンを2秒以上押して本機L側／R側の電源がオフになったことを確認したあとで、L側／R側のボタンを15秒以上押し続けます。ランプ(青)が4回点滅し、工場出荷時の設定に戻ります。すべての機器登録情報が削除されます。
- 本機を初期化した場合には、iPhoneやパソコンに接続できなくなる場合がありますので、iPhoneやパソコン側の本機の登録をいったん削除して機器登録をしなおしてください。

ノイズキャンセリング機能について

- 外部の環境ノイズ (乗り物内の騒音や室内の空調音など) と逆位相の音を出すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。
 - 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じられる場合があります。
 - 本機の装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音 (ハウリング) が出たりすることがあります。このような場合は、本機を装着し直してください。
 - ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対してもっとも効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
 - 自動車、バスなどでご利用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
 - 携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話から本機を離してください。
 - 本機のマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリングや外音取り込み機能 (アンビエントサウンドモード) の効果が得られなくなったり、ピーという音 (ハウリング) が出たりすることがあります。このような場合は、マイク部から手などを離してください。



その他のご注意

- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たる場所や車内などには置かないでください。
- 携帯電話でご利用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- 本機は、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまうおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。
- 落としたりぶついたりなどの強いショックを与えないでください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - 洗面所などでの使用

- 水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
 - 汗をかく状況での使用
- 濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

- 本機をご使用中に気分が悪くなったときはすぐに使用を中止してください。
- 本機やイヤークラスなどは飲み込むおそれがあるので、ご使用後は充電ケースに収納し、乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

トリプルコンフォートイヤークラスについて

- 本機には、より耳にフィットし、適音性を向上させる目的で、トリプルコンフォートイヤークラスを付属しています。
 - 耳によりフィットするため、耳への負担が大きくなるおそれがあります。違和感のある場合には、使用を中止してください。
 - 発泡シリコン部分だけを引っ張らないでください。イヤークラスから分離すると、機能しくなります。
 - 発泡シリコン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなるおそれがあります。
 - 発泡シリコン部分の穴の大小は音質に影響ありません。
 - 装着時、耳の中でプチ音がある場合がありますが、異常ではありません。
 - 発泡素材は、長期の使用・保存により劣化します。劣化すると本来の性能が機能しなくなりますので、交換してください。

ハイブリッドイヤークラスは消耗品です。イヤークラスが破損・劣化し交換する場合は、別売のEP-EX11シリーズ (SS、S、M、L、LL の各サイズ) をお買い求めください。

トリプルコンフォートイヤークラスは消耗品です。イヤークラスが破損・劣化し交換する場合は、別売りのEP-TC50シリーズ (S、M、L の各サイズ) をお買い求めください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

対応iPhone/iPod

対応機種は以下のとおりです。本機につないで使用する前にiPhone/iPodを最新のソフトウェアにアップデートしてください。

- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone SE
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5
- iPod touch（第6世代）

※2017年8月現在

主な仕様

概要
<div> <div>通信方式</div> <div>BLUETOOTH標準規格Ver. 4.1</div> </div> <div> <div>出力</div> <div>BLUETOOTH標準規格Power Class 1</div> </div> <div> <div>最大通信距離</div> <div>見通し距離 約10 m¹⁾</div> </div> <div> <div>使用周波数帯域</div> <div>2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)</div> </div> <div> <div>対応BLUETOOTHプロファイル²⁾</div> <div>A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）、AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）、HFP（Hands-free Profile）、HSP（Headset Profile）</div> </div> <div> <div>対応コーデック³⁾</div> <div>SBC⁴⁾、AAC⁵⁾</div> </div> <div> <div>対応コンテンツ保護</div> <div>SCMS-T方式</div> </div> <div> <div>伝送帯域 (A2DP)</div> <div>20 Hz ~ 20,000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)</div> </div> <div> <div>同梱物</div> <div>ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット (1) <div>マイク用USBケーブル (約50 cm) (1)</div> <div>充電ケース (1)</div> <div>ハイブリッドイヤークラスロング（SS/S/M/L各2）</div> <div>トリプルコンフォートイヤークラス（S/M/L各2）</div> <div>フィッティングサポーター（M/L各2）</div> <div>使用上のご注意／主な仕様 (本書) (1)</div> <div>取扱説明書 (1)</div> <div>その他印刷物一式</div> </div> </div> <div> <div>推奨アクセサリ</div> <div>USB ACアダプター：AC-UD20（別売） <div>スぺアークラス：EP-EX11、EP-TC50シリーズ (別売)</div> </div> </div>

- 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
- BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
- 音声圧縮変換方式のこと
- Subband Codecの略
- Advanced Audio Codingの略

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

<div> <div>電源</div> <div>DC 3.7 V：内蔵充電式リチウムイオン電池</div> <div>DC 5 V：USB充電時</div> </div> <div> <div>質量</div> <div>約6.8 g（本体）</div> <div>約70 g（充電ケース）</div> </div> <div> <div>許容動作温度</div> <div>0℃～40℃</div> </div> <div> <div>電池持続時間</div> <div>ワイヤレス接続 <div>連続音楽再生：最大3時間 (NC ON)、最大3時間 (NC OFF)</div> <div>連続通話：最大3.5時間</div> <div>連続待ち受け：最大8時間 (NC ON)、最大35時間 (NC OFF)</div> </div> </div>
--

注：コーデックや使用条件などにより短くなる場合があります。

充電時間
約1.5時間
(15分充電時 約70分音楽再生可能) (本体)
約3時間 (充電ケース)
注：使用条件により変わる場合があります。

充電温度
5℃～35℃

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書とヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

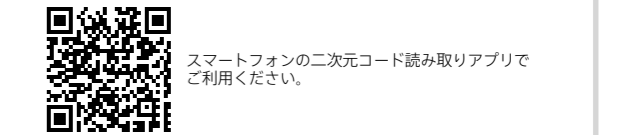
当社ではワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセットの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには

→ パソコン、スマートフォンから
http://www.sony.jp/support/headphone/
二次元コード



BLUETOOTH/NFCの接続対応機種情報、BLUETOOTHアクセサリ商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

電話・FAX でのお問い合わせは

→ ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)

- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：

－ 型名

－ 製造 (シリアル) 番号：充電ケースの底面に記載

－ ご相談内容：できるだけ詳しく

－ お買い上げ年月日

接続に関するご質問時

質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

型名：WF-1000X

あるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

方 相談窓口	フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS 一部のIP電話 050-3754-9577
理 相談窓口	フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS 一部のIP電話 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社

<http://www.sony.jp/support/>

左記番号へ接続後、最初の
ガイダンスが流れている間に
「309」＋「#」を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<div> <div>製品登録のすすめ</div> <div>ソニーは製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をおすすめしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。</div> <div>http://sony.jp/reg/hp/</div> <div> <div></div> <div>二次元コード読み取り機能でご利用ください。</div> </div> <div> <div>製品のご登録についてのお問い合わせ</div> <div>ソニーマーケティング（株） My Sony お客様窓口</div> <div>www.sony.jp/msc/inquiry</div> </div> </div>
